



「よりみち美術館 ～みんなで挑戦、ちょうどくクイズ～」

会場：彫刻の森美術館 アートホール

会期：2018年7月14日（土）～2019年7月15日（月・祝）（予定）

彫刻の森美術館は、1969年に日本で初めての野外美術館として開館しました。庭園を散策しながら、自然と彫刻の調和を楽しめることが特徴です。

作品には作者のさまざまな思いや考え、経験が込められています。作家の表現として誕生した彫刻は、ひとつの言語、一種の伝達手段といえるでしょう。

今回の展示では、コレクションの中から、石や木、金属といった伝統的な素材で作られた彫刻を紹介します。そして、作品の内容をクイズとイラストで表しています。答えを見つけて作者の意図に近づきながら、彫刻の世界にお立ち寄りください。



●展示の見どころ

・ポイント1 クイズ

クイズの答えを考えながら作品を鑑賞する、新しいスタイルのコレクション展です。

展示している8点の作品全てに出題されているクイズを解きながら会場をめぐることで、おのずと作品への理解が深まっていきます。

・ポイント2 心地よい室内空間

会場内には、ゆっくり過ごすことができるよう椅子を置いています。

椅子に腰掛けながら、段差のある会場の雰囲気など、展示空間を楽しんでください。

・ポイント3 野外彫刻に応用

「よりみち美術館」のコンセプトは、野外彫刻の鑑賞にも適用できます。

散策の途中に立ち止まって、作品のことや作者の意図など、思いを巡らせてみてください。

最初に……

会場入口に設置されている作品ガイドを手に取り、ご鑑賞ください。

作品ガイドには、作品の情報や解説、クイズの答えが掲載されています。



●ポイント1 クイズ

クイズは8点出題されています。

こちらでは、ジュリアーノ・ヴァンジ《フロレンティア》とルイーズ・ネヴェルスン《無題》のクイズを紹介します。

01

私のドレス、素敵でしょ。
どこで買ったでしょう？
Do you like my dress?
Where do you think I bought it?

A. ブラジル


B. インド


C. 銀座




ジュリアーノ・ヴァンジ《フロレンティア》

私のドレス、素敵でしょ。どこで買ったでしょう？

- A. ブラジル
- B. インド
- C. 銀座

答え：A

作品解説：

題名はラテン語でフィレンツェの意味で、ルネッサンスが起きた芸術の町を示しています。身体部はブラジル産、顔と手はアメリカ産の花崗岩で、眉には金が使われています。手を組んで目を閉じたこの女性は、自身のことを繰り返し内省しています。

ルイーズ・ネヴェルスン《無題》

私を作った人はパートナーと大げんかしました。

その理由は？

- A. すぐにモノを捨てるから
- B. 家中の家具をバラバラにするから
- C. 食器をいつも割ってしまうから

答え：B

作品解説：

箱の中にテーブルの脚や家具の一部、木切れなどが詰められています。廃材や既製品の一部を素材にした「箱」シリーズを始めに制作し、それらを集め、重ねて並べたのが本作の「壁」シリーズです。全体を金色で覆うことでガラクタから日常性を奪い、魔術的な世界を表しています。



04

私を作った人はパートナーと大げんかしました。その理由は？

The person who made me had a big fight with their partner.
What was the reason?

A. すぐにモノを捨てるから
Because they soon throw things away.



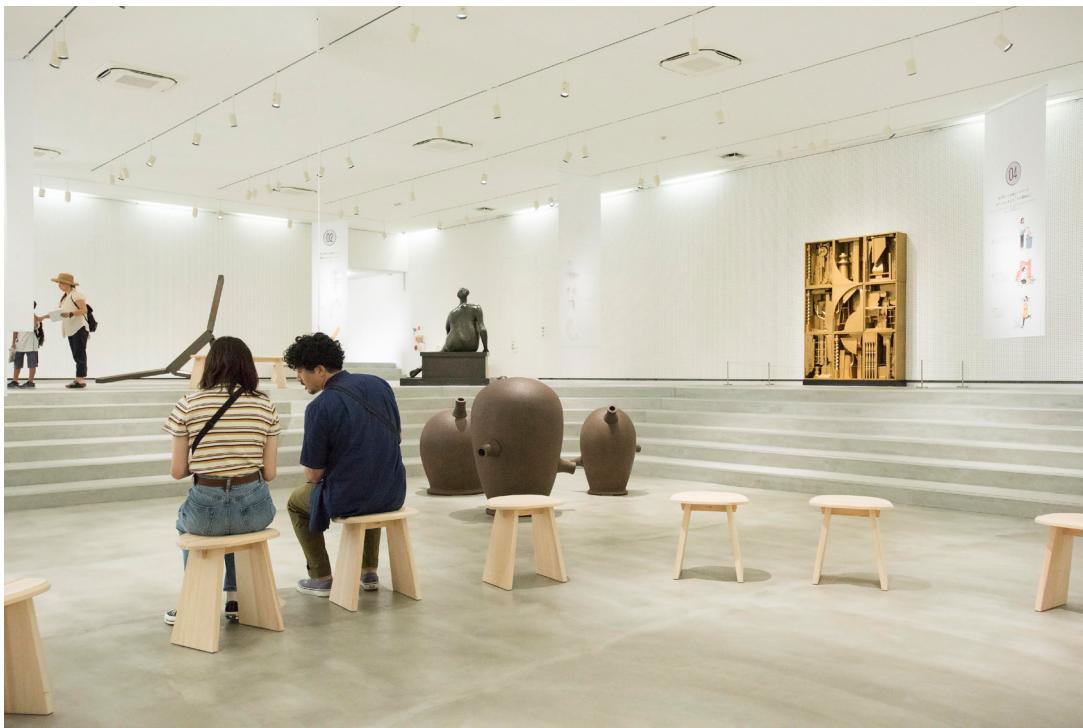
B. 家中の家具をバラバラにするから
Because they break all the furniture in the house to pieces.



C. 食器をいつも割ってしまうから
Because they are always breaking the plates.



●ポイント2 心地よい室内空間



会場内のイスに腰掛けると、展示空間がより身近に感じられます。

●ポイント3 野外彫刻に応用



家族や友人と作品について話してみてください。
鑑賞のヒントが見つかるはずです。

【作品リスト】

1. ジュリアーノ・ヴァンジ（イタリア、1931年-）
《フロレンツィア》2008年 花崗岩、金 214×43×87cm
2. ジョエル・シャピロ（アメリカ、1941年-）
《無題》1985年 ブロンズ 229×228×133cm
3. ヘンリー・ムーア（イギリス、1898-1996年）
《腰かける女》2008年 ブロンズ 160×142×104cm
4. ルイーズ・ネヴェルスン（ロシア-アメリカ、1899-1988年）
《無題》1961年 木、塗料 233×165×30cm
5. イサム・ノグチ（アメリカ、1904-1988年）
《雨の山》1982年 鋼鉄、亜鉛メッキ 240×78×63cm
6. 篠田守男（日本、1931年-）
《テンションとコンプレッション 402》1972-73年 アルミニウム、真鍮 23×23×22cm
7. トニー・クラッグ（イギリス、1949年-）
《アトモス》1991年 鋼鉄 116×Ø101、101×Ø78、89×Ø76cm
8. ヴェナンツオ・クロチェッティ（イタリア、1913-2003年）
《海辺を歩く少女》1985-93年 ブロンズ 204×65×75cm

【イラストレーション】

岡村優太

1998年大阪府生まれ。面相筆と墨汁を用いた線画で、精密画からキャラクターまで幅広いイラストレーションを手がけている。

主な仕事：「東京防災」「ドイト ウィズ リ・ホーム」「東京メトロ」など

<http://okamurayuta.com/>



【椅子】

More-Trees Design Inc.

「スツール」は森林保全団体 more trees の設立 10 周年を記念したプロダクト。

デザイン：ジャスパー・モリソン+熊野亘
<http://more-trees-design.jp>



イベント内容や詳細に関するお問い合わせ、取材のリクエスト、および掲載用画像の請求は下記までお願ひいたします。

彫刻の森美術館 〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121 TEL:0460-82-1161 FAX:0460-82-1169
広報担当：辻井、福間 press@hakone-oam.or.jp Photo:Mika Sasaya (会場風景、作品)